

勿来第一中学校だより

く ん ぶ う



薫風



ゆえん  
【校章の所以】

平和の鳩を表すとともに中学の中を表す。また、勿来の関の桜や「勿」のデザインをイメージしている。

発行責任者 校長 丹野 英雄

第11号 令和6年2月16日発行

さる2月3日(土)21世紀の森周辺駅伝コースでいわき市中学校新人駅伝競走大会が行われました。朝の冷え込みは厳しかったもののレース直前には陽の光も射し込み澄んだ青空のもと、男子は6区間、女子は5区間で襷をつなぎました。次年度の前哨戦となる大会とあってレースは熾烈を極めました。男女とも準優勝という結果をあげることができました。

お互いに切磋琢磨しながらも深い絆で結ばれた部員たち。仲間の思いを託された選手たちは、持てる力を存分に発揮し、若さみなぎる熱いレースを展開しました。駅伝部の部員たちは目標を高く掲げ、前向きに取り組む大切さを勿来一中の全生徒に教えてくれたと思います。ありがとうございます。そして、お疲れさま。

さて、2月15日(木)の5校時に、3年生だけで卒業式の練習を行いました。入退場・卒業証書授与・式歌を唱う場面など、3年生の真剣な姿が随所に見られました。今後、1・2年生も含めて予行を行ったのち卒業式当日を迎えます。3年生(卒業生)には、自分の成長を振り返り、新たな希望を持つとともに、多くの方への感謝の気持ちをもって卒業式に臨んでほしいと思います。

なお、今年度から従前のおと、1・2年生(在校生)も含め全校生が一堂に会する卒業式に戻す予定でいます。また、保護者の方にも人数の制限なく式場にお入りいただけるように配慮しましたので、感染防止を徹底した上でご臨席ください。在校生には卒業生からしっかりと襷を受け継いでほしいと思います。

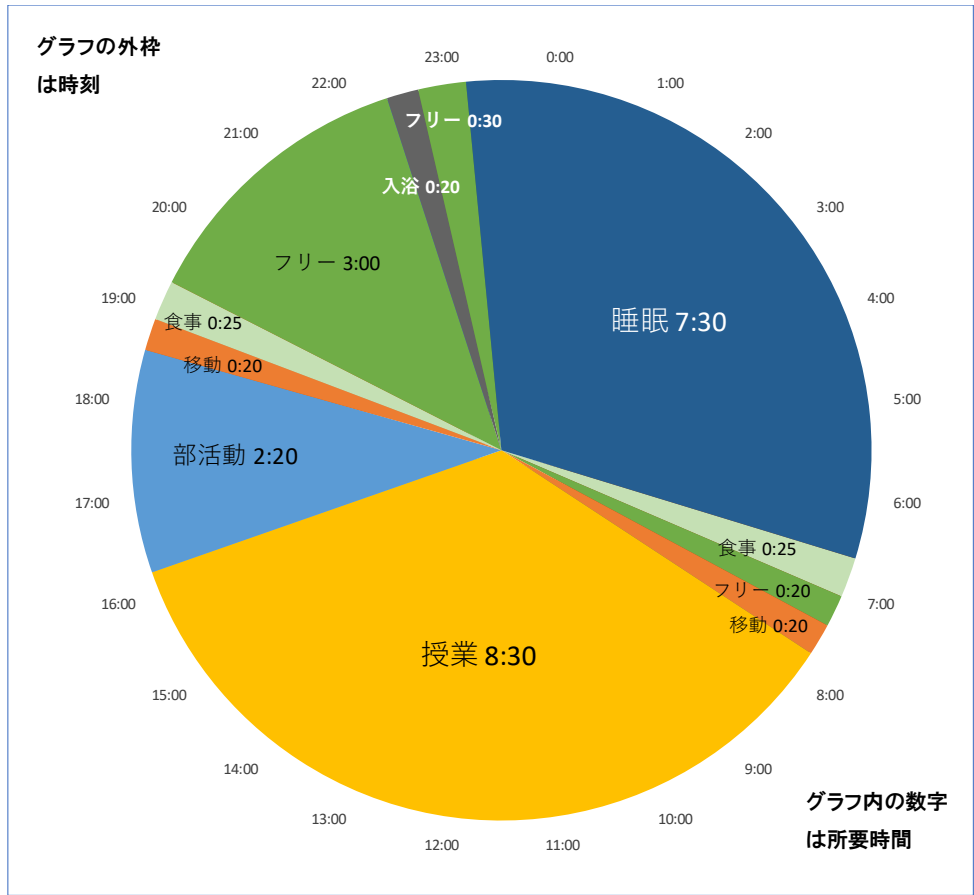


女子スタート直後の様子です。男女ともに襷をつなぎ準優勝という結果をあげることができました。

それぞれの思いを託し、次へと襷をつなぐ生徒たち

# 限られた時間で、学習効果を上げるには？

部活動に所属している中学生が平日どのように過ごしているかを示したものが右の円グラフです。1日は24時間ありますが「授業・部活動・習い事・移動・睡眠・入浴・食事」を差し引いたものがフリーな時間になります。実際に洗い出してみると意外とフリーな時間が少ないことが分かります。宿題や予習・復習に当てる家庭学習の時間は、このフリーな時間から捻り出す必要があります。フリーな時間で、「読書もしたい。」「テレビも観たい。」「ゲームもしたい。」「友達と連絡もとりたい。」「やりたいことはたくさんあるのに時間は限られている。」



中学生は、日々そんなジレンマを抱えて生活しています。大人が思っている以上に中学生は気ぜわしさを感じているのかもしれませんが。

さて、限られた時間で効率よく勉強するためには、自分にとって”最適な学び”を見つけることが大事になってきます。書いて勉強を進めた方がよいタイプ。読んで勉強を進めた方がよいタイプ。あるいは、デジタル教材などを活用して視覚的に捉えたほうがよいタイプ。人によってもさまざまです。教科によってもさまざまです。また、短時間で何度も繰り返す学習の仕方が合っているのか、じっくり時間をかけて理解する学習の仕方が合っているのか、見極めることも大切です。いずれにしても、経験してみなければ実感はわいてきません。具体的にアクションを起こしてみれば何かしら気づきがあるはず。ジレンマを抱えたままで過ごすか否か、選ぶ自由は誰にでも等しく与えられています。

ただし、アクションを起こしたからといって、すべての教科で成果がすぐに現れるとは言い切れません。そのため、途中で投げ出したくなってしまいうこともあられるでしょう。そんな時にこそ、クラスメートの存在が貴重になります。授業中の「教え合い」を積極的に導入している教科があります。教わる生徒は、「問題のどこに着目すればいいのか」「学んだことから、どんな知識を活かせばいいのか」といった観点で、分かっていそうな生徒に話しかけるので、知識を得るだけでなく”知識を得る手法”を学ぶことになります。一方、教える側の生徒は、その教科で必要とされる見方や考え方を整理しながら分かりやすく伝えようとするので、理解が一層深まります。これが、「主体的・対話的で深い学び」の理想です。

自分にとって”最適な学び”を見つけ、”知識を得る手法”を体得できれば、学力は飛躍的に伸びるはずです。また、将来的には「社会において、たくましく生き抜くための能力」として活かされると思います。

## 【教育目標】

自ら進んで学習する生徒  
礼儀正しく思いやりのある生徒  
心身共に健康でたくましい生徒



QRコードを読み取ると本校ホームページにつながります。

〒979-0141

福島県いわき市勿来町窪田伊賀屋敷102番地の2  
TEL 0246-64-7221 FAX 0246-64-7264  
E-mail : nakoso1-jh@city.iwaki.lg.jp